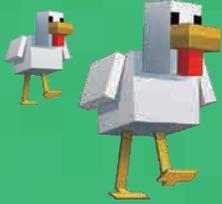




MINECRAFT

EDUCATION EDITION



Minecraft カップ 2019 全国大会

<https://minecraftcup.com/>



募集作品 (ワールド) のテーマ：

スポーツ施設のある僕・私の街

スタジアムや運動場、体育館などのスポーツ施設と、これと連携して利用される施設のある町に住んだり訪れたりすることで、暮らす全ての人々が充実した暮らしをすることができるワールドを開発しよう！

応募期間 2019年3月10日(日)～8月18日(日)

参加対象 15歳以下の男女で構成される3名以上30名以内のチーム
および、16歳以上のコーチング役、成年の責任者

評価指標 ① どれほど多様な人々が充実した暮らしができるか
② 協働作業の利点が生かしているか
③ プログラミングやレッドストーンが活用されているか

必要環境 ・ Minecraft: Education Edition(教育版マイクラフト) がインストールされ、インターネットに接続された Windows 10、Mac OSX、iPad のいずれかが動作する端末
・ 相互の端末が接続された LAN

※教育版マイクラフトのアカウントをもっていない場合、ホームページより申請後、事務局より本大会専用のアカウント発行します。

授賞式

2019年9月23日(月)

受賞者特典

- ・ 受賞イベントご招待
- ・ 賞状
- ・ 副賞 (マイクラ関連グッズ)

Wander-fu!!



審査員



鈴木 寛

東京大学教授
慶應義塾大学教授



鶴岡 佑

一般社団法人未踏
未踏ジュニア代表



大西 一平

プロフェッショナル
ラグビーコーチ



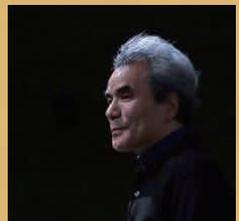
Kazu

動画クリエイター



神谷 加代

教育ITライター



高崎 正治

王立英国建築家協会
名誉フェロー建築家

- ワクワクする「まち」をデザインしよう -

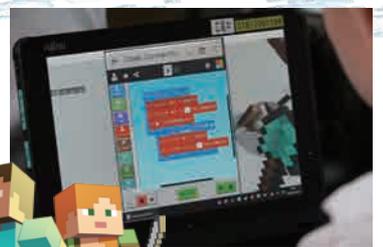
21世紀を生きる子どもたちは、問題解決能力やコラボレーションといった、不確かな時代を生きるために必要なスキルを身につける必要があると言われています。

そこで、プログラミング体験および、デジタルなものづくりを通じた問題発見・解決を目指すツールとして世界的に人気のある「Minecraft」を活用し、全ての子どもたちがプログラミング教育やデジタルなものづくりに触れる事のできる機会を創出するため「Minecraft カップ」を開催いたします。

テーマは、「スポーツ施設のある僕・私の街」。日本において、2019年はラグビーワールドカップ、2020年は東京オリンピックパラリンピックなど国際的なスポーツイベントが開催される中で、子どもたちが自分ごととして受け止められるようになることを狙いとしています。

さまざまな環境下にある全ての子どもたちが、多様な協働を通じて、自らのコミュニティ創りに積極的に参加できる体験となるように。また、全ての子どもたちの可能性を最大限に引き出せるように。

そんな願いをこめた「Minecraft カップ」に、ぜひご参加ください！



アドバイザー



青砥 毅

全国子どもの貧困・教育支援団体協議会
代表幹事



赤堀 侃司

日本教育情報化振興会会長
ICT CONNECT 21 会長



遠藤 利明

2020年オリンピック・パラリンピック
東京大会実施本部長



岡田 武史

元サッカー日本代表監督



鎌田 和樹

UUUM株式会社 代表取締役社長



ツツナミ シュウイチ

Minecraft公式プロモインクラフター
マイクロソフト認定教育イノベーター (MIE)



村木 厚子

元厚生労働事務次官



吉藤 健太郎

株式会社オリィ研究所
代表取締役CEO



若宮 正子

最年長プログラマー

